

イントロ京阪私市駅から大阪市立大学附属植物園

京阪私市駅から駅前クスノキ通りを通っていざ植物園へ →



→ 途中、激安缶ジュース自販機発見! 思わず水分補充

植物園入口



さあ行こう。 と思いきや ・・・

入口手前にマグワの木



ちょっと葉裏を覗いてみると、やっぱりキジラミがありました。

入口前の橋から植物園を見ると ハリエンジュ ミズキ (白い花) チャンチンモドキが見られます。





事務所建屋軒下にはムサシア ブミの鉢植えがありました。 (3小葉の葉が2枚あるのが特徴)



カラタネオガタマ (中国原産 蕾からバナナの香りがしてきました。)



クスノキ(100年)



メタセコイア







タブ型照葉樹林

イヌマキ

ナギ (幅広い葉の針葉樹林)



ハクサンボク







(花)

ジンガサハムシ



マサキ



ツチアケ ビ (ラン科 葉緑素を持たない腐食植物) 赤いソーセージのできる前



ホソバタブ (アオガシ)

バクチノキ (樹皮が次々に剥がれ落ちるのは、博打で負けて身ぐる みを剥がれるようだってこと。)



バリバリノキ



(クスノキ科 アオスジアゲハがやってきた)

暖帯型落葉樹林

キクバオウレ

ン

ホウチャクソウ (枝別れ)





トケンラン (トケンとはホトト ギスのこと。花の斑 点模様がホトトギス の腹の模様に似てい る。)



ミスミソウ? (スハマソウ 丸い葉)



キクザキイチゲ



シモバシラ

(初冬、枯れた茎の根元から霜柱のような氷柱が立つので、シモバシラという。シモバシラ(氷柱)は、茎が枯れ根がまだ生きていて水を吸い上げると茎の中の導管の破れたところから水がしみ出し凍ることからできる現象。)



シイ型照葉樹林



タラヨウ (タラヨウ の葉の裏に 「たらよう」 と書いてあ りました。)



ツブラジイ



【不思議その1】 ツブラジイは枝が触れあわず樹冠に隙間があるが、スダジイは枝が接して樹冠に隙間がない。足下の植物にも日光を分けようとするツブラジイの優しさとは思えませんが、なぜなんでしょう?



カタクリの実(エライオソームはほんのり甘い味がします。)



アカマツ型針葉樹林



低地カシ型照葉樹林

ゴヨウマツ

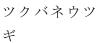


タカノツメ (花)





オニタラビコ







ヤブニッケイ

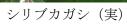
高地カシ型照葉樹林





サンゴジュ イスノキ









東アジア区



(花序を包む白い大きな苞からハンカチ)



アブラギリ

(種子から採れる油は有毒だが、印刷用インキ、ペンキ、 ニス、油紙に用いる。昔は和傘にも塗られた。)





ヒイラギナンテン

コウヨウザン (近年、早生樹造林木として注目されている。 早生 樹造林木には、他にセンダン等もある。)



エビフライ (ダイオウウショウ?)



ユサン (実、種)



ユリノキ広場(お昼ご飯 13:00 着 13:45 発)

ユリノキ(花) シナノキ (実)

シナノキ (葉裏) (脈腋に毛嚢がある。 腋以外は無毛)







ムツボシオニグモ

オーストラリア区



ブラシノキ (カリステモン)



海岸型照葉樹林



トベラ



エゴノキ

【不思議その3】エゴノキの花は新枝の先に数個つくが、外側から順に咲いているのはなぜ?

温帯南部型落葉樹林(ケヤキが優占種の森林モデル)

ケンポナシ





ミズキ (葉を裂くと糸を引く)

トネリコ

キクラゲ



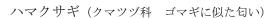




ネコノチチ

日本樹木見本園

ヘラノキ (蕾)









タツナミソウ (花 青)